

平成29年度(2017年度)

管理事業名	水路事業				総合計画の体系	第5章 第2節	環境を守り育てるまちづくり 自然と共生するまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 08	土木費	(項) 03	水路費	(目) 02	水路維持費		
部局名	下水道部	予算執行所属	水循環室						
予算大事業名 水路維持管理事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)水路費(目)水路総務費 水路総務事業 (款)土木費(項)水路費(目)水路総務費 河川親水環境事業 (款)土木費(項)水路費(目)水路新設改良費 水路新設改良事業								
事業の目的と概要 水路維持管理事業・水路総務事業 安全で快適な都市環境の改築のため、水路・排水管等の維持管理を行います。 水路新設改良事業 水路・排水管等の適正な機能面、安全面の確保及び利用面の向上等を目的に施設の改良を行います。 河川親水環境事業 河川管理者である大阪府との協働により、市内の河川清掃作業を行い、河川環境の美化・保全を推進します。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
水路等の清掃延長	m	10,625.00	10,059.00	10,484.00	水路等を維持管理のために清掃した延長
水路等の調査延長	m	550.00	425.00	813.20	水路等を目視調査した延長
水路等の改良延長	m	270.25	1.00	105.70	水路等の機能面・安全面等を改良した延長
排水管渠等の整備延長	m	187.85	273.35	210.65	排水管渠の布設替えや更生をした延長
成果の説明	水路等の清掃を行うことにより、快適な生活環境の確保や、市民の安心・安全に寄与しました。 水路は点検による不良個所の改良工事を行いました。 排水管渠は、点検による不良個所について改築を行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	5,102	5,080	5,324	244
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	204,544	751	294	△456
経常収入 小計(a)	209,646	5,831	5,618	△213
給与関係費	64,162	63,452	64,513	1,061
物件費	49,249	49,087	40,191	△8,896
維持補修費	39,414	39,428	45,846	6,420
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,110	4,462	5,353	891
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,206	453	453	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,285	5,376	5,451	75
退職手当引当金繰入額	10,062	4,344	4,058	△286
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	1,623,376	1,623,376
経常費用 小計(b)	171,488	166,599	1,789,240	1,622,641
経常収支差額(a)-(b)=(c)	38,158	△160,768	△1,783,622	△1,622,854
特別収入	146,771	-	7,071	7,071
特別収入 小計(d)	146,771	-	7,071	7,071
特別費用	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	146,771	-	7,071	7,071
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	184,929	△160,768	△1,776,551	△1,615,783
一般財源充当額	161,242	162,049	174,241	12,192
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	346,171	1,281	△1,602,309	△1,603,591

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	施設管理委託料、システム保守委託料、その他委託料 8,383千円 排水管等改良に伴う設計委託料 4,638千円
維持補修費	工事請負費 45,846千円
負担金・補助金・交付金等	淀川右岸水防事務組合分担金 893千円 淀川右岸治水促進期成同盟負担金 84千円 大阪府河川協会会費 70千円 安威川ダムに係る水特法12条負担金 2,108千円
その他	事業用土地の下水道事業会計との重複登録の見直しに伴う経常費用 1,623,376千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,399	5,377	5,618	241
行政サービス活動支出	166,641	167,426	167,138	△288
行政サービス活動収支差額	△161,242	△162,049	△161,520	529
投資活動収入	0	-	-	-
投資活動支出	-	-	12,721	12,721
投資活動収支差額	0	-	△12,721	△12,721
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△161,242	△162,049	△174,241	△12,192
一般財源充当額	161,242	162,049	174,241	12,192
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
水路1mあたりにかかるコスト	平成27年度	11,633.10 m	14,741.38 円	経常費用 小計(b)のうち、その他で、固定資産の重複登録の見直しによる経常費用1,623,376千円を計上しているため、それを控除して、分析しています。単位あたりコストは経常費用全体が減となり、かつ実績延長の増加している為、コスト減となっています。
	平成28年度	10,758.35 m	15,485.55 円	
	平成29年度	11,613.55 m	14,281.94 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,376	5,451	75
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,376	5,451	75
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	2,229,497	605,669	△1,623,828	固定負債	60,803	59,001	△1,802
土地	2,219,540	596,163	△1,623,376	地方債	-	-	-
建物・工作物	9,958	9,505	△453	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	60,803	59,001	△1,802
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	34,547	34,547	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	1,186,479	1,199,807	13,328	負債の部合計	66,180	64,452	△1,727
土地	1,186,479	1,199,807	13,328	純資産	3,384,344	1,775,570	△1,608,774
建物・工作物	0	0	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
固定資産	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	-	-	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	3,450,524	1,840,023	△1,610,501
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,450,524	1,840,023	△1,610,501
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

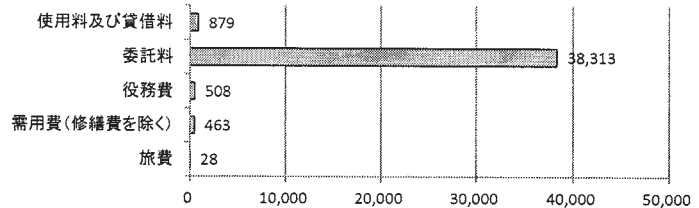
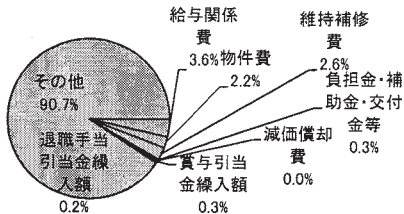
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	8.7人				74,022
給与関係費等	74,022千円				
内、時間外勤務手当	2,309千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 土地	下水道事業会計との重複登録が判明し、平成29年度経常費用で見直したため
インフラ資産 土地	水路用地買収及び寄付で土地を取得したため

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	水路等
取得年月日	
建物・工作物の取得価額	59,450 千円
建物・工作物の減価償却累計額	49,945 千円
利用料金収入	5,276 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		66.3	66.3	77.1	10.8
施設老朽化比率		82.5	83.3	84.0	0.7
受益者負担比率		3.0	3.0	0.3	△ 2.7
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		96.8	96.8	96.9	0.1
経常費用対公共資産比率		288.5	280.2	3009.7	2729.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費64,513千円(3.6%)、物件費40,191千円(2.2%)、維持補修費45,846千円(2.6%)、その他1,623,376千円(90.7%)となっています。物件費の内訳としては、施設管理委託料、システム保守委託料、その他委託料(水路等調査業務他)として8,382千円、排水管等改良に伴う設計委託料として4,638千円、糸田川河川清掃として589千円ほかです。その他の内訳としては、下水道事業会計移行に伴い、固定資産の重複登録が判明し、見直したため、経常費用1,623,376千円を計上し、訂正するものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

水路等の機能を確保するため必要な清掃や調査等を行っています。これらの維持管理は、市民の安全と快適な都市環境の確保のためには必要な事業であると考えています。また、水路・排水管路の点検による不良個所の改築は、状況や大きさにより改築費用が異なるため、費用対効果を比較するのは困難ですが、点検を行い、不良個所が拡大する前に速やかに改築を行っていく必要があると考えています。